

市民クラブ市政報告

発行：姫路市議会市民クラブ 姫路市安田四丁目1番地 ☎：079-221-2042 編集責任者：常盤 真功



お世話になります。
皆様にご支援・ご支持頂き活動を進めております、『姫路市議会 市民クラブ』の仲間です。

今回は、『姫路市議会正副議長選挙及び監査委員の選任、市民クラブ会派役員、所属委員会の変更』、『子ども医療費の完全無償化』、『姫路市教職員組合からの請願』、そして6/5～6/28までの24日間で開会された『令和6年第2回姫路市議会定例会での個人質疑』についてご報告致します。

I. 『姫路市議会正副議長選挙及び監査委員の選任、市民クラブ会派役員、所属委員会の変更』について

- 【議長】：宮下 和也 議員（公明党）
- 【副議長】：東影 昭 議員（新生ひめじ）
- 【監査委員】：常盤 真功 議員（市民クラブ）
- 【監査委員】：石見 和之 議員（自由民主党）

役職名	氏名	常任委員会
会長	阿山 正人	経済観光
幹事長	常盤 真功	厚生
政調会長	山口 悟	文教・子育て
会員	竹尾 浩司	建設
〃	駒田 かすみ	厚生
〃	三輪 敏之	総務
〃	八木 隆次郎	経済観光
〃	蔭山 敏明	文教・子育て

【文教・子育て委員会委員長】＝山口 悟
 【予算決算委員会副委員長】＝竹尾 浩司
 【新市立高等学校設置特別委員会】
 設置目的：市立高等学校の新設に関する調査研究
 副委員長＝蔭山 敏明
 委員＝山口 悟

II. 『子ども医療費の完全無償化』について

子どもの健康も全力応援！
 ●子ども医療費の完全無償化
 ▶福祉総務課・☎221-2307
 0～18歳（※）の人が7月1日以降に医療機関を受診する際の医療費の自己負担額を、所得制限なしで全額助成します。
 ※18歳に達する日以降の最初の3月31日まで
 ※健康診断料、予防接種料等は対象外です
 ID:26876

<広報ひめじ 7月号より抜粋>

III. 『姫路市教職員組合からの請願』について

姫路市教職員組合から提出された請願『義務教育費国庫負担制度の堅持、および負担率「二分の一」への復元と、三〇人以下学級の実現を求めることについて』全会派賛成で採択され、要望書を関係先へ送付することが確認されました。

IV. 『令和6年第2回姫路市議会定例会での個人質疑』について

常盤真功議員が質問しました

【個人質問：質問日 6/13】

本定例会にて、3項目18点について個人質問しました。
『「住みたいまち」への対応について』、『市内陸部の工場用地確保について』、『給食調理室への空調設備早期設置について』の3点についてご報告します。

住みたい、働きたいまち姫路に向けて
市民の代弁者として質す！



●「住みたいまち」への対応について

Q:人口減少が進む中、姫路市は令和4年、令和5年と社会増であったと仄聞する。

具体的にどの地域が転入先として選ばれているのか。なぜ選ばれているのか。

A:本市においては令和4年は259人、令和5年は168人と2年連続で社会増となった。令和4年、令和5年の2年間で転入者が多い小学校区は、城陽、手柄、白鷺、荒川、飾磨、高浜、白浜校区などであり、JR山陽本線沿線及び市南部に多い傾向にある。転入者に選ばれる要因としては、これらの地域は交通環境や商業施設が充実しているなど、生活する上での利便性が高いことが主な要因ではないかと考えている。

●市内陸部の工場用地確保について

Q:市内で継続的に事業をするための工場用地を求める中小事業者がいる一方、働く場所を確保することにより、通勤する従業員が増え、郊外部における大幅な人口減少に歯止めをかけることができるだけでなく、郊外部への移住・定住促進につなげられると考える。市街化調整区域の規制緩和における対象事業のさらなる拡大を検討することはできないか。

A:先端技術開発関連の企業に限らず、工場用地ライブラリー制度による用地情報の提供、開発に係る各種行政手続のサポート、相談窓口のワンストップサービス、工場立地促進制度による奨励金の交付などにより、総合的に市内中小企業者を支援していく。本市の内陸部は、都市計画や農業に関する規制が多いため、今回の規制緩和や特例を定めた法令を活用することで立地可能となる場合もあることから、企業から相談があった場合は適切な助言を行うほか、手続がスムーズに行えるよう努め、先端技術開発関連分野を中心とした業種などの投資促進を図っていく。

●給食調理室への空調設備早期設置について

Q:児童生徒へ給食を提供する多くの給食調理室、特に自校方式の調理室にはまだまだ空調設備が設置されていない。安全安心な給食を提供するためにも早期設置が望まれる。今後どのように整備を進めていくのか。

A:4つの給食センターのうち北部と南部の2施設に、自校方式の小学校については60校のうち6校に空調設備の設置が完了している。給食センターについては今年度実施設計を予定し、令和8年度までに整備が完了する予定になっている。自校方式の小学校については、設置完了年度は未定であるが、建て替え時の整備は令和3年度から、既存の給食室への整備は令和5年度から、順次、校舎長寿命化改修工事等大きな工事と合わせて、年間3校程度行っている。衛生管理の面、そして調理員の労働環境改善の面から必要であるということは十分認識しており、少しでも早く全ての給食室に設置できるよう努力をしていく。

山口悟議員が質問しました

【個人質問：質問日 6/17】

本定例会にて、4項目10点について個人質問しました。
『送迎バスへの保育士・幼稚園教諭の配置について』、『部活動地域移行推進室の設置について』、『公民館を活用した自習室の整備について』の3点についてご報告します。

教育行政について
児童生徒のために質す！



●送迎バスへの保育士・幼稚園教諭の配置について

Q:本市は、保育施設の送迎バスの同乗者は保育士等の有資格者のみと指導している。しかし、児童福祉法の中には、そのような決まりはない。子どもの安全を守るために同乗者を有資格者のみとしていることは理解するが、点呼による所在確認や、バス内にプザー等の設置による安全対策が進んでいることから、働く側の保育士の立場に立った柔軟な対応が必要ではないか。

A:現在のところ、指導や条例の見直しを行うことは考えていない。しかし、保育士以外の人材活用が保育士の負担軽減となり、働きやすい環境づくりに寄与することで、保育人材の確保にも有効であることは認識している。そのため、保育士以外の人材活用が積極的にできるように、保育体制強化事業にも取り組んでいるところであり、子どもの安全・安心を確保した上でのさらなる活用を検討したいと考える。

●部活動地域移行推進室の設置について

Q:本市は、2026年度の部活動の主体が1・2年生となる夏休み以降に休日の部活動を地域クラブ活動（姫カツ）に移行していく計画で進めているが、あと2年程しかない。児童生徒が希望の部活動を選択できるように、さらなるスピードアップが必要である。そのため、部活動地域移行推進室を設置し、体制強化を図り、先にある平日の地域移行を見据えた体制を構築するべきではないか。

A:姫カツの持続可能な運営体制を構築するためには、部局横断的体制による専門部署の設置が急務であると認識している。部活動地域移行に向けた専門部署の設立に向けて協議を進めていく。

●公民館を活用した自習室の整備について

Q:全市立公民館にWi-Fi環境が整備され、児童生徒がICT端末を持って行けば自動で接続できるようになっているが、児童生徒は、部活動や習い事があり、17時で閉館される公民館での利用は難しいと考える。そのため、17時以降についても、活用しやすいように、オンラインでの予約やスマートロックを整備するなど、安全面・管理面に考慮した施設整備を行い、児童生徒が使いやすい施設となるように改善を進めるべきではないか。

A:今年度から、土日や長期休業期間等で公民館職員が在館する時間帯の利用から取り組んでいく。17時以降の会議室開放時間の拡充については、今後、会議室開放事業の利用状況やニーズを踏まえ、子どもたちの安全確保や施設の防犯対策などの課題を整理していきながら検討していく必要がある。